

市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会 経緯

- 2015～2016年 駅南の地権者の一部にて再開発勉強会を開催
- 2016年10月 駅南の地権者にて、“市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会”を設立
- 2017年12月 対象エリアを駅西も含める形に拡大
- 2017年4月 第14回協議会を開催予定

## 市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会

### 設立趣旨

市ヶ谷駅周辺の建物は昭和 56 年以前の旧耐震設計による建物が多く、個々の地権者においては、都内他地域との競争力を強化するために、建替えがクローズアップされてきております。

また、市ヶ谷駅周辺は、平成 8 年の東京メトロ南北線の開通を契機に、乗降客数が増加の一途をたどり、その結果、駅前に人だまり・広場空間がない事により通勤・通学時の歩行者滞留、複雑な交差点形状による車両と歩行者の交錯、南側（麴町方向）への歩道の幅員が狭く、通行が困難等の多くの課題が生じております。東日本大震災の時には、駅周辺に多くの人々が溢れていた状況を目の当たりにし、帰宅困難者対策等の防災機能の強化が必要であるとの認識を強くもちました。

耐震性のある安全な建物を作っていくことは、私たち地権者の義務であります。その際、個別に再開発を進めるのではなく、相互に連携し協調しながら、まちづくりを進めていくことにより、都内でも有数のすばらしい街ができるものと確信しております。

そのために、市ヶ谷駅周辺の地権者が中心となり、まちの課題を共有し、千代田区の考えるまちづくりと歩調を合わせながら、まちづくりを進めていくことが喫緊の課題であると考え、「市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会」を設立する事といたしました。

平成 28 年 10 月吉日

市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会 会員一同